

今後の課題

- 腐植層除去の実施エリアは限られているため、効果的な除草方法を検証しながら、クズ等の草本類の繁茂を抑制するとともに、腐植層除去の実施エリアは順次拡大していきます。
- 補植マツについては、間伐後の生育状況を見ながら適正な密度管理を行います。また、天橋立神社北側のエリアについては、補植マツの生育状況等を評価し、広葉樹二次伐採への着手を判断します。
- 地面が踏み固められて硬くなっている箇所ではマツの根の発達が妨げられるため、土壌改良や踏圧対策の実施を検討します。



京都府 建設交通部 都市計画課
京都府丹後土木事務所

京都府 建設交通部 都市計画課
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
TEL：075-414-5326
FAX：075-414-5183

京都府 丹後土木事務所 施設保全課
宮津市字吉原2586-2
TEL：0772-22-3245
FAX：0772-22-3250

第二期 天橋立公園 松並木景観保全計画(案) ～概要版～



令和6年3月15日時点

天橋立の松並木を未来へ引き継いでいくためには、適切な維持管理が必要不可欠です。

京都府では、『白砂青松』と呼べる天橋立の松並木を後世へ継承するために、2018年度からの5年間で実施する具体的な施策と計画をとりまとめた「第一期天橋立公園松並木景観保全計画」を策定しました。
「第二期天橋立公園松並木景観保全計画(案)」は、第一期計画の評価と課題を踏まえ、松並木の適切な維持管理について、今後の具体的な施策と計画をとりまとめたものです。

◆現状と課題

- かつて天橋立のマツは人々の日常の生活に欠かせない燃料として、その落枝や落葉が利用されていましたが、生活様式の変化によってそれらが利用されなくなり、落枝・落葉の堆積による土壌の肥沃化が進んでいます。
- 地下水位が高いという天橋立の地形特性と土壌の肥沃化により、地上部と地下部でアンバランスな状態のマツが多くなり、平成16年の台風23号により247本の倒木被害が発生しました。
- 土壌の肥沃化は下草や広葉樹の生長を促し、松林が針広混交林へと遷移しつつあるため、天橋立神社周辺を除き、広葉樹を伐採しました。
- それにより、園路等からの見通しは良くなりましたが、林内が明るくなったため、クズやチガヤ、セイタカアワダチソウ等の草本類が繁茂し、キノコの発生も抑制しています。

◆松並木保全の考え方

- 松林を目指すエリアと広葉樹も保全するエリアを明確にし、それぞれに適した維持管理を行います。
- 健全なマツで形成された風通しの良い白砂青松と呼べる松林を目指します。
- 天橋立神社及び参道付近はマツと広葉樹が混合する鎮守の森として維持管理に努めます。

第二期天橋立公園松並木景観保全計画（案）

天橋立の目指すべき姿

健全なマツで形成された松林

適度な樹林密度の松林

下草のない松林



はしだて茶屋付近が天橋立の目指すべき松並木



はしだて茶屋

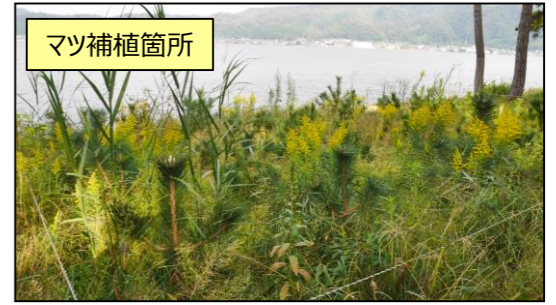
天橋立神社

- 広葉樹伐採範囲
- 基本方針①を目指すエリア
- 基本方針②を目指すエリア

今後5年間で実施する各施策の基本的な考え方

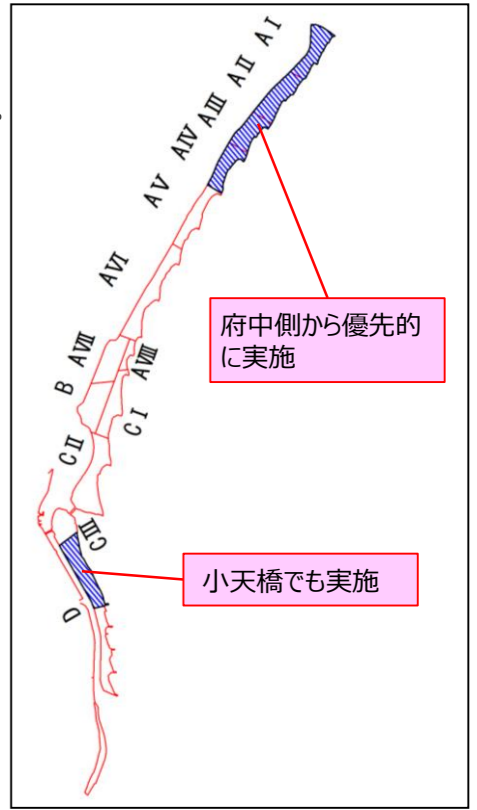
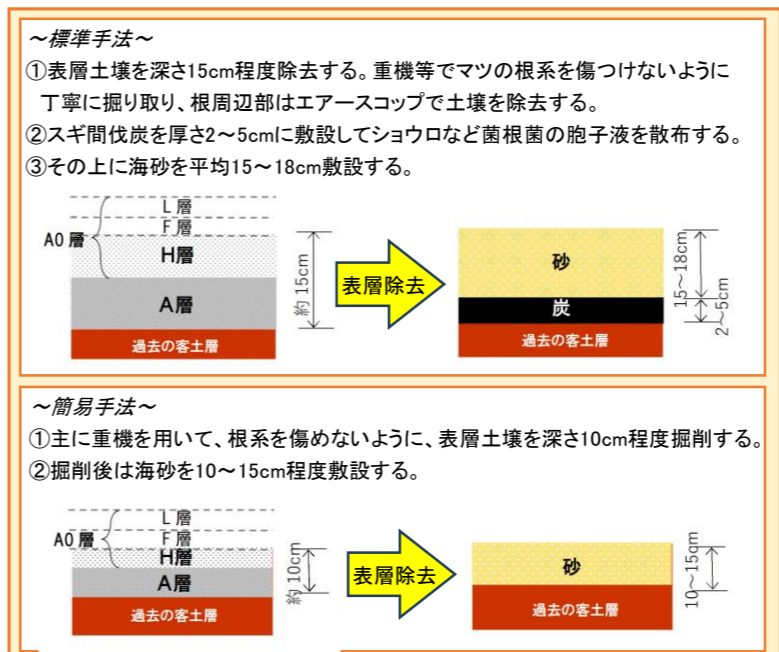
【施策1】補植マツの維持管理

- ◆第一期計画でマツを補植した箇所において、樹高が低く下枝が張った、枝張りのしっかりした林分としていくために、『下刈り』と『間伐』を行います。
- ◆『下刈り』は、草取りや蔓切りなどを毎年行います。
- ◆『間伐』は、育成期間を通じて計画的に密度管理を行います。（第1回目の間伐では2分の1程度まで減らします）



【施策2】腐植層の除去

- ◆松林内に堆積した腐植層の除去を行い、草本類の侵入および生長を抑制します。
- ◆林床を貧栄養化することによって健全な松林の育成と景観の維持を図ります。
- ◆腐植層の除去は、「標準手法」「簡易手法」の2通りを使い分けながら行います。



【施策3】既存マツの管理

- ◆松林内に残存する広葉樹は引き続き伐採を進めるとともに、切株からの萌芽や実生の対策を行います。
- ◆既存のマツの中でも老朽化によって倒木の危険性が高い個体や、利用者にとって支障となる枝などを適宜除去します。
- ◆草本類等の繁茂が著しく腐植層除去の作業が及ばない箇所について、様々な除草方法を試行し、効果的な方法を検討します。
- ◆松並木の保全を進めていくために府民との協働・連携を強化します。



【施策4】鎮守の森の維持管理

- ◆広葉樹保全エリアは、樹木の伐採や枝打ちを定期的に進め、現状程度の樹林密度を維持します。
- ◆広葉樹保全エリア内のマツの周辺は、今以上に腐植層が増加しないよう、引き続き下草の除去や落ち葉かきを行います。

天橋立公園松並木景観保全計画（案）の基本方針

- 健全なマツで形成された風通しの良い白砂青松と呼べる松林を目指す
- 天橋立神社及び参道付近はマツと広葉樹が混合する鎮守の森として維持管理に努める

具体的な施策

- 【施策1】補植マツの維持管理
- 【施策2】腐植層*の除去
- 【施策3】既存マツの管理
- 【施策4】鎮守の森の維持管理



腐植層